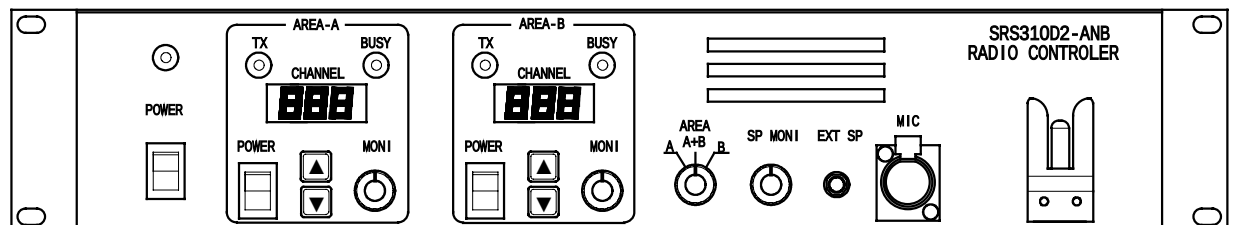


SRS310D2 - ANB型無線インカム装置

特定小電力無線対応

取扱説明書



平成15年2月10日

有限会社 ステップコム・ネットワーク

本装置は、ＴＶ朝日殿 六本木スタジオ内の無線インカム装置の親局として使用するものです。

本装置は、ＳＲＳ３１０Ｄ２－ＡＮＢ型制御装置と２台のＳＲＳ３１０Ｄ型無線装置（制御装置は、２台の無線機を制御する）で構成されます。

無線機は、ＰＬＬシンセサイザー方式のＵＨＦ・ＦＭ無線電話用特定小電力無線機です。

通信方式は単信方式で、通話チャンネルは２０チャンネル（９ＣＨ＋１１ＣＨ）の内１チャンネルを選択して使用します。

本装置は、電波法、無線設備規則及び技術基準適合証明に関する規則に基づいた特定小電力無線局であって、技術基準適合証明されたものです。従って、どなたでも使用することができます。

注 意

本装置を分解したり、本装置の内部に触れることは、電波法により禁じられております。

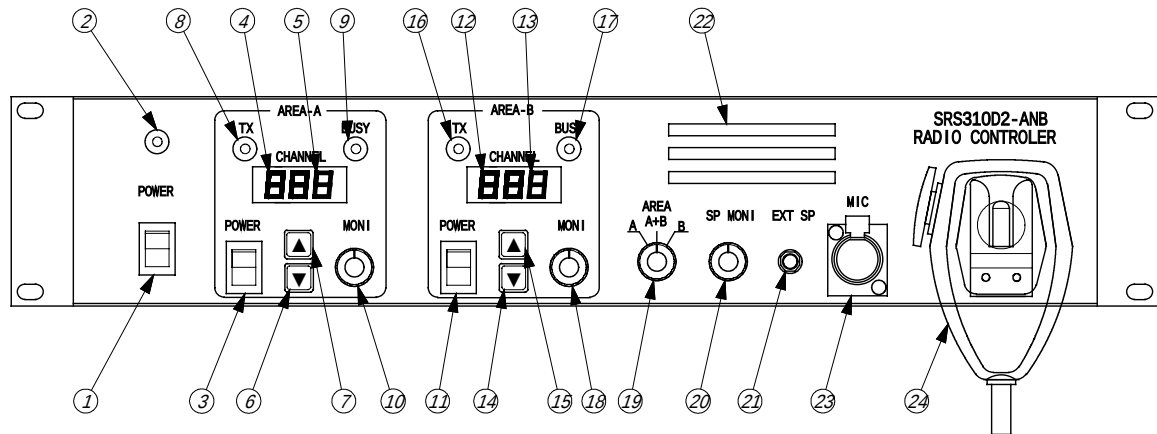
修理点検等は、お買い買い上げの販売店にお任せ下さい。

２、特 長

- １）本装置の無線機は、技術基準適合証明されたもので、無線局の免許、資格等は一切不要です。
- ２）本装置の制御装置は、２台の無線機を個別又は、同時に制御することができます。
- ３）通信方式は、単信方式です。送信出力は、１０ｍＷです。
- ４）通話チャンネルは、２０チャンネル（９チャンネル＋１１チャンネル）の内１チャンネルを選択して使用できます。
- ５）送信時間制限は、連続送信で３分間です。又送信時間制限後２秒間の送信禁止時間があります。
- ６）電波法の定めにより、受信中は送信できませんので、ご注意下さい。

3 , 機能、動作

制御装置 正面パネル



(1)

主電源スイッチです。

(2) 電源表示ランプです。

(3) エリアA無線部の電源スイッチです。

(4) " チャンネルグループ (9 / 1 1 C H) の表示器です。

表示 9 = 422.2000MHz ~ 422.3000MHz

表示11 = 422.0500MHz ~ 422.1750MHz

(5) " チャンネル表示器です。

表示 9 = 1 ~ 9

表示11 = 1 ~ 1 1

(6) " チャンネル下降操作スイッチです。押す毎にチャンネル数は - 1 します。

(7) " チャンネル上昇操作スイッチです。押す毎にチャンネル数は + 1 します。

(8) " 送信表示ランプです。

(9) " 受信表示ランプです。

(10) " 受信モニター副音量調整器です。約 2 0 d B 可変できます。

(11) エリアB無線部の電源スイッチです。

(12) " チャンネルグループ (9 / 1 1 C H) の表示器です。

表示 9 = 422.2000MHz ~ 422.3000MHz

表示11 = 422.0500MHz ~ 422.1750MHz

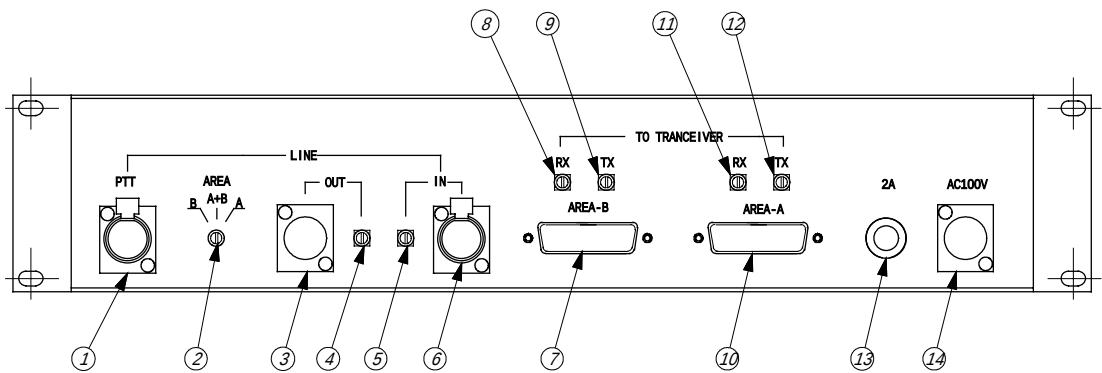
(13) " チャンネル表示器です。

表示 9 = 1 ~ 9

表示11 = 1 ~ 1 1

- (14) " チャンネル下降操作スイッチです。押す毎にチャンネル数は - 1 します。
- (15) " チャンネル上昇操作スイッチです。押す毎にチャンネル数は + 1 します。
- (16) " 送信表示ランプです。
- (17) " 受信表示ランプです。
- (18) " 受信モニター副音量調整器です。約 20 dB 可変できます。
- (19) マイク / モニターのエリア A / B 無線部の切換スイッチです。
 - A = エリア A 無線部のみマイクプレス / モニターができます。
 - A + B = エリア A / B 無線部が同時にマイクプレス / モニターができます。
 - B = エリア B 無線部のみマイクプレス / モニターができます。
- (20) モニタースピーカ用主音量調整器です。
- (21) モニタージャックです。ジャックを差し込むとスピーカは切断されます。
- (22) モニタースピーカです。
- (23) マイクコネクタです。添付のハンドマイクを接続して下さい。
- (24) ハンドマイクです。プレス釦を押しますと送信します。

制御装置 裏面パネル

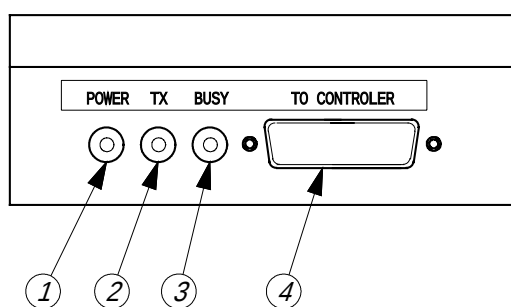


(1)

LINE用PTTコネクタです。

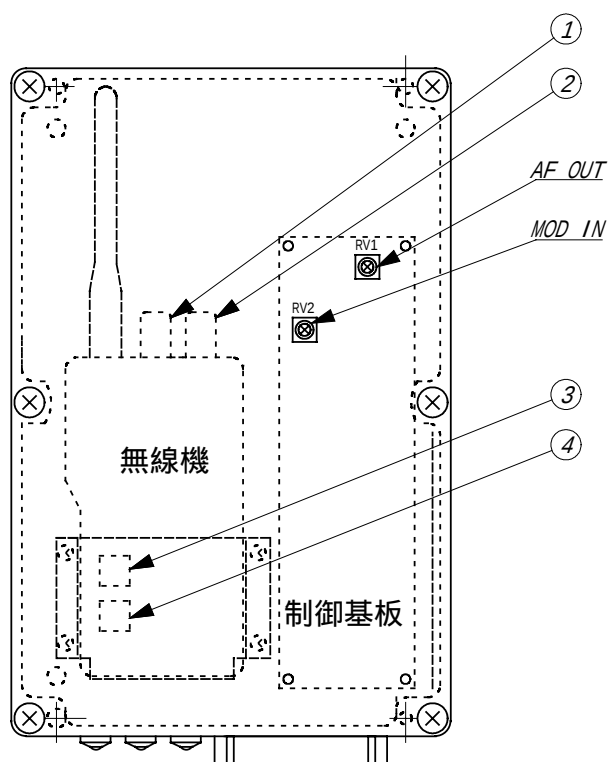
- (2) " エリア A / B 無線部の切換スイッチです。
A = エリア A 無線部のみ LINE 入出力ができます。
A + B = エリア A / B 無線部が同時に LINE 入出力ができます。
B = エリア B 無線部のみ LINE 入出力ができます。
- (3) " 出力コネクタです。
- (4) " 出力レベル調整器です。
- (5) " 入力レベル調整器です。
- (6) " 入力コネクタです。
- (7) エリア B 無線部への接続コネクタです。
- (8) " からの受信レベル調整器です。
- (9) " への送信レベル調整器です。
- (10) エリア A 無線部への接続コネクタです。
- (11) " からの受信レベル調整器です。
- (12) " への送信レベル調整器です。
- (13) AC 100 V - 2 A の主電源ヒューズです。
- (14) AC 100 V 入力コネクタです。(最大 1 A)

無線部（ A / B エリア共通 ）



- (1) 電源表示ランプです。
- (2) 送信表示ランプです。
- (3) 受信表示ランプです。
- (4) 制御装置への接続コネクタです。

下記設定が正しくないと、正常な動作がしませんので十分注意して下さい。



(1) ローカルチャネル切換スイッチ

常時チャネル 1 に設定して於いて下さい。

(2) ローカル音量調整器

常時 1 2 時 (目盛) の位置に設定して
於いて下さい。

(3) ローカルチャネルグループ設定スイッチ

(無線機内部)

常時 9 C H に設定して於いて下さい。

(4) ローカル通話モード設定スイッチ

(無線機内部)

常時 ノーマル に設定して於いて下さい

4 - 1 接続方法

1) ハンドマイクの接続

正面パネル(23)マイクコネクタ (XLR5-31-F77) に添付のハンドマイク (Z P 1 0 9) を、
『カチッ』と音をするまで深く挿入して接続して下さい。

マイクを外す時は上側のレバーを押しながら手前に引いて下さい。

No	名 称	機 能	入 出 力 電 圧
1	+12V	マイク電源	出力 + 1 2 V
2			
3	G N D	G N D	
4	M I C	マイク出力	入力 - 5 8 d B m
5	P T T	プレストーク信号	入力 常時 = H、送信時 = L

H = + 1 0 V 以上 L = + 1 V 以下

2) エリア A / B 無線機 (A / B 共通) との接続

裏面パネル(7)、(10)にエリア A / B 無線機とのコネクタ (D-SUB25S) を接続して下さい。

No	名 称	機 能	入 出 力 電 圧
1	A F O U T - H	受信出力	入力 - 5 d B m
2	" - C		
3	M O D I N - H	変調入力	出力 0 d B m
4	" - C		
5	B U S Y	受信信号	入力 常時 = H、受信時 = L
6	P T T	プレストーク信号	出力 " 送信時 = L
7	C H 0	チャンネル情報 2 ⁰	出力 " アクティブ時 = L
8	C H 1	" 2 ¹	出力 " "
9	C H 2	" 2 ²	出力 " "
10	C H 3	" 2 ³	出力 " "
11	9/11CH	" 9/11CH	出力 9 C H = H、 1 1 C H = L

12	POWER CONT	無線部電源コントロール	出力	常時 = H、制御時 = L
23	+12V	電源+12V	出力	+12V-1A以下
24	GND	GND		GND
25	GND	GND		GND

H = + 5 V 以上 L = + 1 V 以下

3) L I N E 出力の接続

裏面パネル(3)コネクタ (XLR3-32-F77) に接続して下さい。

No	名 称	機 能	入 出 力 電 圧
1	G N D	G N D	出力 0 d B m
2	LINE OUT-H	LINE OUT	
3	" -C		

4) L I N E 入力 of 接続

裏面パネル(6)コネクタ (XLR3-31-F77) に接続して下さい。

No	名 称	機 能	入 出 力 電 圧
1	G N D	G N D	入力 0 d B m
2	LINE IN-H	LINE IN	
3	" -C		

5) L I N E - P T T 入力 of 接続

裏面パネル(6)コネクタ (XLR3-31-F77) に接続して下さい。

No	名 称	機 能	入 出 力 電 圧
1	G N D	G N D	入力 常時 = H、送信時 = L
2	PTT IN-H	PTT IN	
3	G N D	GND	

H = + 1 0 V 以上 L = + 1 V 以下

6) A C 1 0 0 V 入力 of 接続

裏面パネル(14)コネクタ (XLR2-32-F77) に接続して下さい。

No	名 称	機 能	入 出 力 電 圧
1	A C 1 0 0 V	A C 1 0 0 V	入力 AC100V ± 10% 最大 1 A
2	"	"	

5 - 1 , 操作及び動作説明

1) 本装置の電源 O N - O F F

正面パネル(1)の電源スイッチを上 to 倒しますと(2)の電源表示ランプ (緑色) が点灯して、使用状態となります。

又、電源スイッチを下 to 倒しますと、電源表示ランプが消灯して、電源は断となります。

2) A エリア無線部の電源 O N - O F F

正面パネル(3)のAエリア電源スイッチを上 to 倒しますと(4)(5)のチャンネル表示器 (緑色) が点灯し、無線機にチャンネル情報を書き込みます。(警報音を『ピッ』、 - - - 『ピッ』と 5 回鳴動) 尚、チャンネル表示器は前回の電源 O F F の値を表示します。

電源スイッチを下 to 倒しますと、チャンネル表示器が消灯して、電源は断となります。

3) B エリア無線部の電源 O N - O F F

正面パネル(11)のBエリア電源スイッチを上 to 倒しますと(12)(13)のチャンネル表示器 (緑色) が点灯し、無線機にチャンネル情報を書き込みます。(警報音を『ピッ』、 - - - 『ピッ』と 5 回鳴 動)

尚、チャンネル表示器は前回の電源OFFの値を表示します。

電源スイッチを下に倒しますと、チャンネル表示器が消灯して、電源は断となります。

4) Aエリア無線部のチャンネル設定

正面パネル(6)(7)のチャンネル『▲』『▼』スイッチを押すことによりチャンネル設定ができます。

設定されたチャンネルは、正面パネル(4)(5)の表示器に表示されます。

例1 表示9-1、『▲』スイッチON『ピッ』→表示9-2、『▲』スイッチON『ピッ』→表示9-3 - - - -
表示9-9、『▲』スイッチON『ピッ、---ピッ(5回)』→表示11-1

例2 表示9-9、『▼』スイッチON『ピッ』→表示9-8、『▼』スイッチON『ピッ』→表示9-7 - - - -
表示9-1、『▼』スイッチON『ピッ、---ピッ(5回)』→表示11-11

5) Bエリア無線部のチャンネル設定

正面パネル(14)(15)のチャンネル『▲』『▼』スイッチを押すことによりチャンネル設定ができます。

設定されたチャンネルは、正面パネル(12)(13)の表示器に表示されます。

例1 表示9-1、『▲』スイッチON『ピッ』→表示9-2、『▲』スイッチON『ピッ』→表示9-3 - - - -
表示9-9、『▲』スイッチON『ピッ、---ピッ(5回)』→表示11-1

例2 表示9-9、『▼』スイッチON『ピッ』→表示9-8、『▼』スイッチON『ピッ』→表示9-7 - - - -
表示9-1、『▼』スイッチON『ピッ、---ピッ(5回)』→表示11-11

注1)『ピッ、---ピッ(5回)』の警報音5回は、チャンネルグループ9/11の切替中です。

注2)『▲』『▼』スイッチを連続して押すますと、表示器が連続して進みます。

注3)送信中に『▲』『▼』スイッチを押すますと、『ピッ、ピッ』と2回警報鳴動して、送信中の

チャンネル切替を禁止しています。(受信中は切替可能です。)

6) Aエリア無線部の受信

Aエリア無線部が設定されたチャンネルで、受信しますと正面パネル(9)の受信ランプ(橙色)が

点灯します。

正面パネル(19)の マイク / モニターのエリア A / B 無線部の切換スイッチを『A』にしますと正面パネル(10)、(20)の音量調整器で調整して、(22)のモニタスピーカで聞くことができます。正面パネル(21)の『EXT SP』にヘッドホン等を接続して、受信音を聞くことができます。この時、モニタスピーカは切断されます。

裏面パネル(11)のレベル調整器で、受信レベルの調整できます。

マイク / モニターのエリア A / B 無線部の切換スイッチを『A + B』にしますと、エリア A と B を同時に聞くことができます。

7) B エリア無線部の受信

B エリア無線部が設定されたチャンネルで、受信しますと正面パネル(17)の受信ランプ (橙色) が点灯します。

正面パネル(19)の マイク / モニターのエリア A / B 無線部の切換スイッチを『B』にしますと正面パネル(18)、(20)の音量調整器で調整して、(22)のモニタスピーカで聞くことができます。正面パネル(21)の『EXT SP』にヘッドホン等を接続して、受信 ON を聞くことができます。この時、モニタスピーカは切断されます。

裏面パネル(8)のレベル調整器で、受信レベルの調整ができます。

マイク / モニターのエリア A / B 無線部の切換スイッチを『A + B』にしますと、エリア A と B を同時に聞くことができます。

注 1) 電波法の定めにより、受信中は送信できません。『ピッ、ピッ』と 2 回警報が鳴動します。

8) A エリア無線部の送信

正面パネル(19)の マイク / モニターのエリア A / B 無線部の切換スイッチを『A』にして、正面パネル(24)のハンドマイクのプレス釦を押しますと、正面パネル(8)の『TX』送信ランプ (赤色) が点灯し、無線機は送信状態になりますので送話を行って下さい。

裏面パネル(12)のレベル調整器で、送信レベルの調整ができます。

マイク / モニターのエリア A / B 無線部の切換スイッチを『A + B』にしますと、エリア A と B の無線機を同時に送信することができます。

9) B エリア無線部の送信

正面パネル(19)の マイク / モニターのエリア A / B 無線部の切換スイッチを『B』にして、

正面パネル(24)のハンドマイクのプレス釦を押しますと、正面パネル(16)の『TX』送信ランプ（赤色）が点灯し、無線機は送信状態になりますので送話を行ってください。

裏面パネル(9)のレベル調整器で、送信レベルの調整ができます。

マイク / モニターのエリア A / B 無線部の切換スイッチを『A + B』にしますと、エリア A と B の無線機を同時に送信することができます。

注 1) 電波法の定めにより、連続送信時間は 3 分間です。

連続送信は 3 分以内で運用して下さい。

3 分を過ぎますと自動的に送信は停止します。この時は、一旦プレス釦を 2 秒以上開放して

再び送信して下さい。

10) LINE 出力（エリア A 受信の LINE への出力）

A エリア無線部が設定されたチャンネルで、受信しますと正面パネル(9)の受信ランプ（橙色）が点灯します。

裏面パネル(2)の エリア A / B 無線部の切換スイッチを『A』にしますと、裏面パネル(3)のライン出力コネクタに受信音声が出力されます。

裏面パネル(4)のレベル調整器で、受出力信レベルの調整ができます。

エリア A / B 無線部の切換スイッチを『A + B』にしますと、エリア A と B の無線機を同時に受信することができます。

11) LINE 出力（エリア B 受信の LINE への出力）

B エリア無線部が設定されたチャンネルで、受信しますと正面パネル(17)の受信ランプ（橙色）が点灯します。

裏面パネル(2)の エリア A / B 無線部の切換スイッチを『B』にしますと、裏面パネル(3)のライン出力コネクタに受信音声が出力されます。

裏面パネル(4)のレベル調整器で、受出力信レベルの調整ができます。

エリア A / B 無線部の切換スイッチを『A + B』にしますと、エリア A と B の無線機を同時に受信することができます。

注 1) 電波法の定めにより、受信中は送信できません。『ピッ、ピッ』と 2 回警報が鳴動します。

12) LINE からのエリア A 無線機の送信

裏面パネル(2)の エリア A / B 無線部の切換スイッチを『A』にして、裏面パネル(1)の PTT コネクタより PTT 信号が入りますと、正面パネル(8)の『TX』送信ランプ(赤色)が点灯し、エリア A 無線機が送信状態となります。裏面パネル(6)の LINE IN コネクタより送話音声を入力して下さい。

裏面パネル(5)のレベル調整器で、送信レベルの調整ができます。

マイク / モニターのエリア A / B 無線部の切換スイッチを『A + B』にしますと、エリア A と B の無線機を同時に送信することができます。

13) LINE からのエリア B 無線機の送信

裏面パネル(2)の エリア A / B 無線部の切換スイッチを『B』にして、裏面パネル(1)の PTT コネクタより PTT 信号が入りますと、正面パネル(16)の『TX』送信ランプ(赤色)が点灯し、エリア B 無線機が送信状態となります。裏面パネル(6)の LINE IN コネクタより送話音声を入力して下さい。

裏面パネル(5)のレベル調整器で、送信レベルの調整ができます。

マイク / モニターのエリア A / B 無線部の切換スイッチを『A + B』にしますと、エリア A と B の無線機を同時に送信することができます。

注 1) 電波法の定めにより、連続送信時間は 3 分間です。

連続送信は 3 分以内で運用して下さい。

3分を過ぎますと自動的に送信は停止します。この時は、一旦プレス信号を2秒以上開放して、再び送信して下さい。

6,仕様

1)通信方式	単信方式
2)通話チャネル	9チャネル 422.2000MHz～422.3000MHz (12.5KHz間隔で9チャネル) 11チャネル 422.0500MHz～422.1750MHz (12.5KHz間隔で11チャネル)
3)送信出力	10mW以下
4)変調方式	F3E
5)最大周波数変移	±2.5KHz以内
6)受信感度	-5dBμ以下(12dB SINAD)
7)送信時間制限	3分以内
送信休止時間	2秒以上
8)L I N E 出力レベル	0dBm±2dB (1KHz)
“ 入力レベル	0dBm±2dB (1KHz)
9)マイク入力レベル	-58dBm (1KHz)
10)電源電圧	AC100±10% 最大1A以下